

あなたの声を町政に

総括質問時間は、一人35分
一問一答方式で行いました

問 今後の支所のあり方は

横尾正文議員

答 長期的視野に立って 機構改革をする

Q 予算大綱にある、
①支所のあり方は、
②保育所の指定管理を
含めた運営方針は、
③当面の学校設置数に
ついて、小学校5校・中
校2校体制は。

A 町長
①支所のあり方につ
いては、23年度は長期的
視野に立った機構改革の
原案を出したい。

②保育所の指定管理は、
この一年掛けて指定管理
にするか直営で行くのか
を検討したい。
③学校設置数については、
期限を切って広く議論し
ていきたい。

Q 支所のあり方につ
いては、来年度は今ま
どどおりなのか。また、
窓口業務中心ならば臨時
職員で対応できないか。

A 町長
支所は窓口業務を中
心にしている。
臨時職員での対応も検
討する。
Q 保育所において臨時
職員だけによる担当
クラスがあるが法律的に
問題はないか。
A 福祉課長
問題は無いが、職員
数が減少し補充も出来な

いためこのような状況と
なっている。
Q 他の市町村において
指定管理にした場
合、いろんな問題が出て
いるようだが、今後の対
応は。
A 町長
悪い面ばかりでなく
良い面もあると思うの
で、総合的に検討する。

Q ブライダル関連事業
の実績と今後の方向
性は。
A 町長
現在23名の登録があ
る。昨年2回のイベン
トを開催した。
今後は女性の登録者が
増えるよう取り組む。
イベントなど、「出会
いの場」を増やしたい。

問 診療所開設は

橋本輝久議員

答 鋭意努力している

Q 昨年12月議会で町長
は、「医師の確保が
最優先だ。陽正会に対し
更なる医師確保をお願い
をする。」「私の政治生
命をかけ、最善の努力を
する。」と言われたが、豊
松地区の診療所開設は出
来るのか。
A 町長
鋭意努力している。
県から移管する時の協定
書、約束事があるので知

事にも強く要請している。
Q 中学校生徒の減少で
クラブ活動の休止や
廃止など極めて厳しい状
況だ。希望するクラブが
ないため町外に転出する
という状況も発生し緊急
課題だ。早急に解決すべ
きでは。
A 教育長
指摘のとおりだ。生
徒数の推移をみても課題
は確実に増える。

学校再配置の見直しを
行う検討委員会を地域代
表、PTAを含めた組織
を設置し議論を進めてい
く。
Q 中・高一貫教育の導
入への取り組みと、
中・高一貫教育検討委員
会の答申内容は。
A 教育長
連携型の中・高一貫
教育を推進する。
コーディネート配置
で、中・高校の調整、講
演会や広報活動を実施す
る。中・高一貫教育の導
入は有効であり、そのた
めには、

Q 中・高一貫教育の導
入への取り組みと、
中・高一貫教育検討委員
会の答申内容は。
A 教育長
連携型の中・高一貫
教育を推進する。
コーディネート配置
で、中・高校の調整、講
演会や広報活動を実施す
る。中・高一貫教育の導
入は有効であり、そのた
めには、

①広範な町民の支援体制
が不可欠である。
②中・高の立地条件を考
慮するべきである。
③持続可能な教育システ
ム構築のため人的・財政
的配慮が必要であるとの
答申を受けた。
II その他の質問
*光と安らぎを求める予
算について*海外難民受
け入れについて*支所の
あり方について



夏にむけGO!

問 町特産加工品全国展開は

小川清治議員

答 ソフト事業で計画策定

Q コンビニ設置が決定
した。議論の中で、
設置は手段であり目的の
中には町特産物をこの
ルートに乗せて全国展開
するとの説明があった。
全体計画、年次計画、23
年度の具体的な内容は。
A 副町長
新年度はソフト事業
で具体的な計画づくりを
行う。

Q 県は今年販売促進課
を新設し農商工連携
施策展開をし、東京銀座
に県産品販売店を設置す
る計画であるが、どう関
わるのか。産業振興によ
り雇用拡大、定住促進に
繋がる事業展開ができる
計画策定を望む。
A 副町長
県とも連携して取り
組む。

4名で14・8%と国内平
均10・6%を4%上回っ
ている。
しかし女性課長は現在
いない。男性、女性に関
わらず、適材適所、実力
重視の人事を行っている。
Q 町民の6割は女性だ
女性課長の登用は。
A 町長
現在、女性管理職は



182 ステーション売り場

問 勇気ある挑戦「海外難民 受け入れ」は

寄定秀幸議員

答 「世界に羽ばたく」本町の 人道支援・国際貢献だ

Q 海外難民受け入れ
は、勇気ある挑戦で
あると高く評価する。
本町の難民受け入れの
具体的な取り組みは。
A 町長
日本の取り組みは、
年間数千人から数万人を
受け入れている欧米に比
べると極めて少ない現状
である。
初の試行である第三国
定住制度に、今年度から
3年間で約90人のミヤン
マー難民を受け入れる。
海外難民受け入れは、



農業公社 水稲種まき作業

「世界に羽ばたく神石高
原町」としての人道支援・
国際貢献である。

農業技術の習得で難民
の方の夢が叶うこととあ
わせ、荒廃農地が多い本
町の地域再生に繋がる可
能性を検証する。
具体的には短期農業研
修として2週間程度農業
者のもとで研修を行い、
難民雇用の課題や可能性
を調査する。
Q 児童虐待、DV、う
つ病など弱い立場の
人に手をさしのべる地域
づくりが重要だ。
うつ病に効果的な(認
知行動療法)を身近に受

けられる体制整備や専門
的医療支援へどう取り組
むのか。
A 町長
うつ病対策は各地区
での研修会の開催や相談
事業の回数増、訪問事業
の充実などにより、一層
防止に取り組む。
うつ病の症状によって
(認知行動療法)が有効な
治療となる。今後の啓発
事業の中でそうした治療
や医療機関の紹介を行っ
ていきたい。

Q 携帯電話やパソコン
で、こころの健康
チェックが出来る、「こ
ころの体温計」を活用す
る試みを実施しては。
A 町長
システムなどの検討
が必要であるが、当面は
人的対応で啓発などに取
り組みたい。
II その他の質問
*当初予算編成について
*総合的鳥獣害対策